

東京都三士会共通「効果の見える生活期リハビリテーション評価表（訪問版）」ver.1.1

氏名： ○△ □◇ 殿 (男・女)

疾患名： 廃用症候群 アルツハイマー型認知症

介護度： 非該当 / 要支援 1・2 / 要介護 1・2・3・4・5

凡例： 年月日： M・D・S・H X年 9月 8日 (79)
 初回： 赤字 (ローマン体：通常字体) 3ヶ月後： 青字 (イタリック体：斜体) 太字
 既往症 ○ 点線の ○

記入者名： ○○ (職種 OT)

<支援方針>

身体を動かし、身体機能を維持する 整容や食事等自分で出来るADLを維持する (認知/動作面) 誤嚥を予防し、安全な経口摂取を継続する

<生活目標>

生活の目標		自己評価	①評価日 (X年 4月 1日)	②評価日 (X年 7月 1日)
<ご本人から聞かれた希望>	こうやって (座って) テレビを見ていたい	実行度	6 / 10	6 / 10
<達成可能な目標>	ベッドを離れ余暇時間を過ごせる	満足度	6 / 10	6 / 10
<ご本人から聞かれた希望>	ゆっくりしたい 寝ていたい	実行度	8 / 10	8 / 10
<達成可能な目標>	安楽に日常を過ごせるように日中活動できる体力をつける	満足度	2 / 10	2 / 10

<ご家族の希望>

身体の機能が衰えないように 歩けるように維持したい

<リスク>

誤嚥性肺炎 廃用症候群進行

<1日の過ごし方>

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
①評価日								起床	朝食	T V	リハ (2/W)	昼食				入浴 (2/W)	おやつ	T V		夕食				就寝
②評価日								起床	朝食	T V	リハ (2/W)	昼食				外出 入浴 (2/W)	おやつ	T V		夕食				就寝

<生活状況>

大	中	評価項目					主観的 実行度	予後 予測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点 ・身体 ・高次脳 ・環境 ・精神 ・認知 など	優先 項目	優先項目にした根拠
		自立	見守り	言語 指示	身体 介助	全 介助							
I 基本動作	①寝返り	5	4	3	2	1	/10	○	殿部のすらし動作 (可・不可) つかまり (有・無)	柵の使用 (有・無) マット (硬質マット・除圧マット・エアマット)	廃用性筋力低下 依存的 依存的 立位バランス不良	○	介護にあたる家族の介助方法習得が難しい (後方につっぱる)
	②起き上がり	5	4	3	2	1	/10	○	ふとんのかけはずし (かける・はく) つかまり (有・無)	柵の使用 (有・無) 背上げ (有・無) マット (硬質マット・除圧マット・エアマット)			
	③座位	5	4	3	2	1	/10	○	耐久性 (有・無) 重心移動 (可・不可) つかまり (有・無) リーチ範囲 (狭・広)	背もたれ (有・無) 座面 (硬・普通・軟) 介助バー (有・無)			
	④立ち上がり	5	4	3	2	1	10/10	○	つかまり (有・無) フッシュアップ (有・無)	評価場面 ()			
	⑤立位	5	4	3	2	1	/10	○	耐久性 (有・無) 重心移動 (可・不可) つかまり (有・無) リーチ範囲 (狭・広)	座面高 (低・普通・高) 手すりの使用 (有・無) 支持物 (有・無) 床面 フローリング・畳・カーペット・滑り止め			

II 移動	屋内	⑥歩行	5	4	3	2	1	3	/10	○	段差(可・不可) 速度(遅い・普通・速い) 距離(3 → 10メートル) 補助具(無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車)	装具(有・無) 床面段差(有・無) 転倒歴(有・無)	↓	立位バランス不良	○	声掛けや介助方法が習得されれば、日常の歩行機会が増え、歩行距離延長の見込みあり
		⑦車いす	5	4	3	2	1	1	/10	○	姿勢保持(良・不良) 自走(足こぎ・手操作) 座位耐久性(30分)	自走型・介助型 手動・電動(クッション(座・背) 床面段差(有・無) 転倒歴(有・無)				
	屋外	⑧歩行	5	4	3	2	1	1	/10	△	段差(可・不可) 速度(遅い・普通・速い) 距離(3 → 10メートル) 補助具(無・T杖・4点杖・歩行器・歩行車)	装具(有・無) 路面段差(有・無) 転倒歴(有・無) 路面環境(整地・不整地・坂道)				
		⑨車いす	5	4	3	2	1	1	/10	○	姿勢保持(良・不良) 自走(足こぎ・手操作) 座位耐久性(30分)	自走型・介助型 手動・電動(クッション(座・背) 路面段差(有・無) 路面環境(整地・不整地・坂道) 転倒歴(有・無)				
		⑩階段昇降	5	4	3	2	1	1	/10	○	2足1段 1足1段 手すり使用(有・無)	転倒歴(有・無) 手すり(右・左・両方) 昇降機・エレベーター				
III 移乗		⑪ベッド・いす・車いすに乗り移る	5	4	3	2	1	1	/10	○	いざり・プッシュアップ 立位 アプローチ(前方・側方・後方)	手すり・リフト・スライディング(ボード・シート) 座面高(低・普通・高) 座面高調整(要・不要)				
IV 食事	嚥下	⑫食事	5	4	3	2	1	10	/10	◎	摂取方法(経口のみ) 経口と経管栄養 併用・経管のみ 所用時間:(30)分 疲労(有・無) 摂取量:(4~5)割 → 7~8割 摂取回数:(3)回/日 むせ込みの頻度:無・少・多 むせ込みの力:強・弱	食物形態:調整の必要性(有・無) (ごはん:普通米飯 おかず:普通食 → お粥 → きざみ食) 嚥下方法:複数回嚥下・交互嚥下 背上げ(度) ・その他(吸引器使用:有・無 使用者(水分形態:増粘剤の使用(有・無)・ゼリー化 水(100)mlに対して増粘剤(2.0)g 嚥下方法:複数回嚥下・交互嚥下・背上げ(度) その他(吸引器使用:有・無 使用者(薬剤の形態:錠剤・散剤・カプセル・オブラート ゼリー・水分に溶かす・食物等への添加 その他(使用している側(利き手・非利き手) 食事姿勢(いす座位・車いす・ リクライニング車いす・ベッド)	嚥下反射低下 認知機能低下 食形態の対応不十分 食形態の対応改善	嚥下機能が徐々に低下機能に合わせた食事が提供されていない 嚥下機能に適した食形態となり食量増加 引き続き嚥下機能に適した食形態の評価継続		
		⑬水分	5	4	3	2	1	1	/10	◎	摂取方法(経口のみ) 経口と経管栄養 併用・経管のみ 摂取量:()ml 摂取回数:(4~5)回/日 むせ込みの頻度:無・少・多 むせ込みの力:強・弱	水分形態:増粘剤の使用(有・無)・ゼリー化 水(100)mlに対して増粘剤(2.0)g 嚥下方法:複数回嚥下・交互嚥下・背上げ(度) その他(吸引器使用:有・無 使用者(薬剤の形態:錠剤・散剤・カプセル・オブラート ゼリー・水分に溶かす・食物等への添加 その他(使用している側(利き手・非利き手) 食事姿勢(いす座位・車いす・ リクライニング車いす・ベッド)				
		⑭服薬	5	4	3	2	1	1	/10	○	服薬方法:経口・非経口(むせ込みの頻度:無・少・多 むせ込みの力:強・弱	薬剤の形態:錠剤・散剤・カプセル・オブラート ゼリー・水分に溶かす・食物等への添加 その他(使用している側(利き手・非利き手) 食事姿勢(いす座位・車いす・ リクライニング車いす・ベッド)				
	⑮食事動作	5	4	3	2	1	1	/10	○	使用している側(利き手・非利き手) 食事姿勢(いす座位・車いす・ リクライニング車いす・ベッド)	箸・スプーン・フォーク 自助具(装具(有・無) 介助者(介助力(良・不良)					
V 排泄	⑯トイレ動作	5	4	3	2	1	5	/10	△	便座の立ち座り(可・不可) 清拭(可・不可) 下衣の上げ下ろし(可・不可) 特記事項(トイレ使用少ない)	実施場所(トイレ・居室・その他) 用具(ポータブルトイレ・尿器・手すり・ その他の用具())	↓	廃用性筋力低下 依存的	○	介助量増大と介護拒否でほとんど誘導できていない	
	⑰排尿管理	5	4	3	2	1	1	/10	○	失禁(有・無) 頻度(週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁) 特記事項()	服薬管理(要・不要) 時間誘導(要・不要) オムツ使用・パッド使用・リハビリパンツ使用) その他環境配慮()					
	⑱排便管理	5	4	3	2	1	1	/10	○	失禁(有・無) 頻度(週1回程度の失禁・1日1回以上の失禁) 特記事項()	服薬管理(要・不要) 時間誘導(要・不要) オムツ使用・リハビリパンツ使用) その他環境配慮()					

VI 入浴	⑱入浴	5	4	3	2	1	/10	○	(2) 回/週 浴槽の入り方 (立ちまがき・座りまがき シャワー浴) 浴室内移動 (可・不可・見守り) 支持物 (有・無) 特記事項 ()	場所 (自宅浴室・施設・その他 ()) 用具 (バスボード・手すり・その他 ()) 介助人数 () 人 家族・ヘルパー・その他	廃用性筋力低下			
	⑳洗体	5	4	3	2	1	/10	○	(2) 回/週 洗髪 (可・不可) 体前面 (可・不可) 背中/殿部 (可・不可) 足先 (可・不可) その他 ()	場所 (自宅浴室・施設・その他 ()) 用具 (シャワーチェア・手すり・その他 ()) 介助人数 () 人 家族・ヘルパー・その他				
VII 着替え	㉑上衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	○	座って実施・立って実施 服を整えることの介助 (要・不要) 特記事項 ()	自助具の使用 (有・無 ()) 普段着ている衣服の形態 () 介助者 (家族・ヘルパー)	依存の 介護拒否			
	㉒下衣 (下着も含む)	5	4	3	2	1	/10	○	座って実施・立って実施 服を整えることの介助 (要・不要) 特記事項 ()	自助具の使用 (有・無 ()) 普段着ている衣服の形態 () 介助者 (家族・ヘルパー)				
VIII 整容	㉓洗顔	5	4	3	2	1	10/10	△	座って実施・立って実施 十分に洗えている (可・不可) 習慣的に実施・入浴時のみ その他 ()	場所 (ベッド → 洗面所) 用具 (タオル) その他環境配慮 ()	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	㉔整髪	5	4	3	2	1	/10	○	座って実施・立って実施 清潔に保っている (可・不可) 特記事項 ()	場所 (ベッド → 洗面所) 用具 (櫛) その他環境配慮 ()				
	㉕ひげ剃り、化粧	5	4	3	2	1	/10	○	頻度 (習慣的・外出時・たまに) 肌の手入れをする・化粧をする 特記事項 ()	場所 (ベッド → 洗面所) 用具 (電気カミソリ) その他環境配慮 ()				
IX 口腔衛生	㉖歯磨き	5	4	3	2	1	/10	○	使用している側 (利き手・非利き手) 義歯 (上顎の一部)	歯ブラシ・粘膜用ブラシ・歯間ブラシ・舌ブラシ 自助具の使用 (有・無 ()) その他 ()				
	㉗うがい	5	4	3	2	1	/10	△	ガラガラうがい・ブクブクうがい・清拭・吸引	コップ (普通・自助具)・ガーゼ・スポンジブラシ・ 吸引 機能付きブラシ・吸引器				
X 参加・活動	㉘趣味・余暇活動	5	4	3	2	1	/10	○	行っていること (TV鑑賞) 頻度 (毎日) 回/週 特記事項 ()	<道具や環境の配慮> リビングへ誘導		○	○	○
	㉙家庭内の役割	5	4	3	2	1	/10	△	行っていること () 頻度 () 回/週 特記事項 ()	<道具や環境の配慮>				
	㉚外出	5	4	3	2	1	/10	△	目的の場所への外出を行えている (可・不可) 場所 (近隣) 外出頻度 (1 → 2) 回/週 特記事項 ()	用具 (車いす) 介助者 (家族・その他 (リハビリスタッフ)) その他環境的配慮 (玄関から道路までの スロープ設置)				
XI 管理	㉛金銭管理をする	5	4	3	2	1	/10	△	特記事項 ()	管理者 (家族・その他 ()) その他環境的配慮 ()	認知機能低下			
	㉜服薬管理をする	5	4	3	2	1	/10	△	飲み忘れ (しばしば・時々・ごくまれに・なし) 特記事項 ()	用具 (服薬カレンダー・ボックス・一酸化・ セット者 (家族・その他 ())) その他環境的配慮 ()				

評価項目	良好	やや良好	援助にて可	やや困難	困難	主観的 実行度	予 後 予 測	実際に行っている状態	環境 (人的・物理的)	問題点	優先 項目	優先項目にした根拠	
										<ul style="list-style-type: none"> 身体 高次脳 環境 			<ul style="list-style-type: none"> 精神 認知 など
理解	③指示理解	5	4	3	2	1	/10	○	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・携帯電話・補聴器・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）	難聴 易怒性 認知機能低下		
	④会話理解	5	4	3	2	1	/10	○	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・携帯電話・補聴器・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）			
	⑤メディア情報の理解	5	4	3	2	1	/10	○	刺激：音声・文字・ジェスチャー・記号・その他（ ）	①物品：テレビ・新聞・雑誌・ラジオ・パソコン・携帯電話・その他（ ）			
★ コミュニケーション	表出	⑥基本的要求の表出	5	4	3	2	1	/10	○	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・コミュニケーション機器（ ） その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）		
		⑦日常会話	5	4	3	2	1	/10	○	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・コミュニケーション機器（ ） その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）		
		⑧複雑な内容の意思伝達	5	4	3	2	1	/10	○	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・コミュニケーション機器（ ） その他（ ）	①物品：筆記用具・コミュニケーションノート・携帯電話・眼鏡・その他（ ） ②人物：コミュニケーション支援者（ ） 対応（良・不良）		
対人交流	⑨家族または身近な支援者との交流	5	4	3	2	1	/10	○	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・コミュニケーション機器（ ） その他（ ）	①対象者：家族・友人・知人・スタッフ・その他（ ） ②場所：自宅・自宅外（ ）	介護拒否 易怒性		
	⑩家族以外の人との交流	5	4	3	2	1	/10	○	発語・書字・音読・ジェスチャー・指さし・描画・表情・はいいいえ・コミュニケーションノート・コミュニケーション機器（ ） その他（ ）	①対象者：家族・友人・知人・スタッフ・その他（ ） ②場所：自宅・自宅外（ ）			

<予後予測欄の記入方法>◎…改善可能 ○…維持可能 △…改善・維持の可能性低い

★コミュニケーションについては、マニュアルの評価基準を参照

<見込まれる効果>

①嚥下機能の維持、安全な経口摂取 ②身体機能維持、歩行能力維持・向上 ③家族の介助方法の改善

<得られた効果>

①嚥下機能の維持、安全な経口摂取 食事摂取量増加 ②身体機能維持、介助歩行距離の延長 ③家族の介助方法の習得
④外出頻度増加 ⑤整容動作の自立度向上

<残された課題>

離床後の趣味活動内容が、TV鑑賞しかないため、認知症進行に伴う、さらなる活動意欲の低下が心配される